

# 令和6年度 体育授業モデル作成事業

## 中毛地区小学校体育科授業実践レポート

### (ベースボール型)

○日 時：令和6年11月6日(水)

○会 場：玉村町立南小学校

○単元名：ティーボール(5学年)

○指導者：田浦 正巳 教諭

今年度の中毛地区授業研究会は、玉村町立南小学校の田浦正巳教諭が授業実践を行いました。今回の授業はベースボール型のティーボールの単元で、全8時間計画の7時間目の授業を公開していただきました。【打つ、投げるなどのコツをつかみ、仲間と話し合っ作戦を立ててティーボールを楽しもう】という単元のめあてを立て、ICTを活用してチームごとの作戦を考えたり選んだりしてゲームをすることを目指しました。授業の流れに沿ってポイントを取り上げていきます。

#### ●作戦を立てることの必要感をもたせる導入の工夫

前時の練習や試合の様子を画像で確認することで、相手に合わせた守備位置を考えていました。また、自分たちのよさを生かした守備位置を考えることで、ゲームが自チームに有利になることに子どもたちは気づくことができました。



#### ●単元の見通しをもたせたり、本時のねらいを意識させたりする掲示の工夫

単元計画、ゲームのルール、作戦の例などをボードに掲示し、常に見られるようにすることで、見通しをもって本時に臨んだり、ゲームのルールの確認を子ども同士でできたり、作戦を立てる際の手がかりになったりしていました。



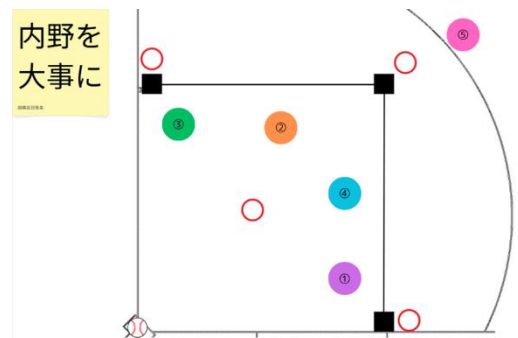
### ●ICT を活用した作戦ボードの工夫

作戦タイムでは児童がタブレットを持ってチームごとに集まり守備位置に関する作戦会議を行いました。その際に、【canva】のホワイトボードアプリを活用し、チームのメンバーが同時編集を行いながら自分や仲間の守備位置を確認していました。各自のタブレットで作戦ボードを共有することで同じ向きでボードを見ながら作戦を考えることができました。



### ●試合に勝つための作戦を意識させる工夫

作戦タイム後に2か所で試合が行われ、各チームが攻撃、守備を1回ずつ行った後に再び作戦タイムを取りました。作戦を再考させることでより相手に合わせたり、自分たちのよさを生かしたりする作戦を考え、後半のゲームに臨みました。最後の振り返りもチームごとに行うことで個人の振り返り、チームとしての振り返りを行うことができました。



### ●全員が活躍できるルールの工夫

試合の中で全員が活躍できるように様々なルールの工夫がありました。

- ・打った後にバットを所定の位置に置ければ1点
- ・3スイング以内にフェアゾーンに飛ばせれば1点
- ・素手での捕球が苦手な児童は、テニピンのラケットを使ってもよい
- ・児童同士の話し合いで判定が難しい場合に相手に譲れたら1点

など、一人ひとりが活躍でき、児童だけで試合が進められるための工夫が見られました。

### ●まとめ

授業検討会では、作戦ボードにICTを用いることの是非について、さらに個人の成長を見取るための方法などについても議論が行われました。今回の授業では、ICTを活用した作戦ボードを使用することで児童がゲームで活躍したり、勝ったりするための作戦を考える意欲が高まり、視覚的に守備位置を意識できていました。また、単元計画、ルール、応援の仕方など様々な掲示があったことで児童が主体的に見通しをもって学習に取り組んでいました。そして、児童が敵味方関係なく声を掛け合い楽しそうに試合をする様子がとても印象的でした。

授業を提供してくださった田浦正巳先生、会場を提供してくださった玉村町立南小学校の先生方をはじめ、研究会開催にご尽力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

(文責：佐波郡小体研)